

## 専門班とはしかけを中心とした二次発掘の準備調査(11月 第1回目)の記録

9月の「専門班を中心とする第一次発掘補足調査」のときの打ち合わせで、専門班の中で決めていただいたような方針では、第二次発掘調査で骨の出そうな層準を発掘することを目標にすることでした。今回の二次発掘の準備調査(11月 第1回目)では、その上位(道路側)をていねいに掘りすすめることにしました。

11月11日(月) 調査のための準備 事務局

11月12日(火) 午前 調査第1日目

滋賀県の南の方は雨が降っていましたが、多賀は曇りでした。朝9時に集合。人数も少ないので今日は2つのグリッドに絞ることにしました。まず、埋めた南のトレンチをスコップで掘り上げて、そこへ水が行くようにして排水しやすいようにしました。G4とG5の2つのトレンチを掘っていき、ていねいに化石をさがしました。ときどき雨が降ってきたので、足元は滑りやすい状況でした。一輪車で泥を運ぶのが結構大変でした。化石は貝化石が少し出ました。

足跡化石班は北の端の部分を調査しました。

参加者は10名。午後からあと2名参加いただく予定でしたが、中止連絡を入れました。

12日参加者	はしかけ	発掘お助け隊	専門班	事務局	多賀町発掘隊	事務局(博物館)	12日合計
	0(中止連絡)	2	5	3	0	2	10+2



11月13日(水)午後 調査第2日目

多賀は朝から好天だったのですが、きのうの夜の雨で発掘現場は水にぬれていました。12時過ぎから排水をはじめ、13時頃みんなが集合しました。この日の参加は13名。足跡化石班は3名で北側の土手の下を少し掘り下げ、春の足跡化石調査の準備をしました。あとのメンバーはきのうの続きの化石発掘にのぞみました。

G4とG5グリッドから貝化石、材化石、植物化石などを掘り上げました。グリッドは深いところでは50cmくらいまで掘り下げられてきました。昆虫班はG14グリッドあたりから昆虫の羽が出たそうです。

少し寒くてテントが風で動いたりしました。秋の日はつるべ落とし、16時で調査を打ち切り16時20分頃解散しました。

ブロックをくだいて細かく調査していると時間が足りないなので、化石は掘り上げたあと、ある程度大きなブロックのまま残しておいて多賀町立博物館の化石発掘体験にまわしてもいいなと考えました。

13日参加者	はしかけ	発掘お助け隊	専門班	事務局	多賀町発掘隊	事務局(博物館)	13日合計
	3	2	6	2	0	2	13+2



11月14日(木) 調査第3日目

9:00から16:20まで調査。参加者12名。朝から好天で気持ち良く発掘ができました。

足跡化石班はこの日も、前日の3名で北側の土手とその前のゾーンに取り組みました。

発掘班は午前中G4・G5グリッドを掘り下げました。午後は骨の層に近い側のG9・G14とG10のグリッドの北の線に沿って東西に掘り下げました。貝化石はほとんど出なかったのですが植物化石を少し採集し、G13 から昆虫の羽の化石を数点見つけられました。

G4～G9はトレンチの壁のようなものができ、G4の壁の断面のスケッチが始まりました。午後には曇りの天気予報だったのですが、終日いいお天気だったので気持ちよく作業ができました。また、栄養ドリンクのさし入れで元気ができました。

14日参加者	はしかけ	発掘お助け隊	専門班	事務局	多賀町発掘隊	事務局(博物館)	14日合計
	4	1	4	3	0	2	12+2



#### 11月16日(土) 調査第4日目

9:00から16:00すぎまで調査。参加者は16名になりました。前日の雨でシートをめくったらトレンチになった深いところは全部水たまりになっていてポンプと人力で排水しました。表面は午前中は滑りやすい状態でした。14日に進めたG9の北側のトレンチをG14までのぼしていきました。今日の参加者は増えたためG3グリッドから化石を探す作業も行いました。G3からは前回の調査と同じように植物、ヒシの実などが多く、そこから甲虫や魚の脊椎骨などが発見されました。

午後にはNHKのクイズ番組の取材が多賀町立博物館からこちらの発掘地にまわってきてグリッドの中から化石発見時のテンションの高い声が響いていました。G3から化石調査した粘土ブロックの一部を上の方場に置いたブルーシートの上へ運び、明日ふたたび米原高校の地学実習で化石をじっくり探してもらうことにしました。

16日参加者	はしかけ	発掘お助け隊	専門班	事務局	多賀町発掘隊	事務局(博物館)	16日合計
	7	1	6	2	0	2	16+2



#### 11月17日(日)最終日 調査第5日目

9:00～15:00調査。参加者15名+米原高の先生2名の17名。そこへ午前中は米原高校の生徒さんの地学実習が発掘地に加わりました。米原高校の地学実習はG3からほりあげた粘土を使ってじっくりと観察しました。そしてその中から化石がいくつも発見されました。

化石発掘はG14 のトレンチを深めてそこから化石をさがす作業と、G3グリッドから化石をさがす作業にわかれしました。

掘り進められた各グリッドの深さ50cm未満のトレンチの壁の調査、位置図作成が行われました。足跡化石班は北側の

斜面で第二次発掘調査の準備を完成させ、G9につくられたトレンチ壁の足跡化石の断面との地層面で見つな  
がりを確認しました。

15時に調査を終えて、道具の後片付け後、各専門班からの今回の調査のまとめをしていただいて、第二次発掘の  
方針を話し合っ、今回の「二次発掘の準備調査(第1回目)」を終えました。

冬に備えてブルーシートをかけ、アケボノゾウ発掘から20年にあたる今年平成25年(2013年)の多賀町古代ゾウ発掘  
プロジェクトの調査をしめくりました。

17日 参加者	はしかけ	発掘お助 け隊	専門班	事務局	多賀町 発掘隊	事務局 (博物館)	17日 合計
	7	1	6	3	0	1	17+1



のべ人数としては68+9

採集標本数 (暫定数11月21日) 植物化石47点 昆虫化石16点 貝化石18点 脊椎動物化石 9点

今回の発掘地のグリッドG5からの粘土をコンテナに詰めて多賀町立博物館へ持ち帰りました。これは化石発掘体験で  
活用していただく予定です。